

はじめに——鋸をつくる 8

第一章 礎(かなしき)考

礎について 34 神話に見える鍛冶 38
鍛冶の言葉と女性 43

第二章 鉄敷(かなしき)と鉄床(かなとこ)

古代の鉄床 48 「東北院職人歌合」の鍛冶図 51
絵画の中の鉄敷と鉄床 55
韓国の鍛冶絵と『和漢三才図会』 64
鉄床の遺品 66 鉄床の製作 69

第三章 鎖(ならし)

古墳出土の鎖 76 さまざまな鎖 78
古代の鎖の使用について 81 作業の推定 83
川原慶賀の道具絵から 88

第四章 鋸(つち)

古墳出土の鋸 92 先手について 96
石工の鋸 98 絵画の中の鋸 102
細工・加工用の鋸 107 玄能のこと 109

第五章 鉗(はし)と鋏(はさみ)

古墳出土の鉗 114
鉗の祖型——「棒状鉄器」について 118
鋸形の鉗 121 鋸の復元 124
万力について 127 箸と鉗と鋏 129
鋏の展開 130 正倉院の「金銅剪子」 133
鉄板を切る鋏 135 握り鋏と鉗式の鋏 137
植木の鋏 139 鍛冶絵の比較 140

第六章 鞆(ふいご)

羽鞆考 146 ニジェール河畔の鍛冶を見て 149
箱鞆の研究 152 箱鞆の改良 156
羽鞆から箱鞆へ 159
絵画資料に見る箱鞆 162 踏鞆 166
付・砥舟、炭 170

第七章 鞆の起原

- 鞆の起原 176 板踏鞆 178
天秤鞆 181 「ふきがわ」について 184
「ふきがわ」から水車へ 185
精錬と「ふきがわ」、鍛造と吹竹 187
「日前神」と「真名鹿」 190
付・たたら史料 193

第八章 鞆口（はぐち）

- 鞆口の遺物 204 さまざまな鞆口
絵画の鞆口 209 古代の製鉄遺構 210 207

第九章 鏝（せん）

- 鏝の出土品 214 出土削刀の使用実験 217
和泉黄金塚出土の「剣身形鉄器」 221
アイスキ・削刀・「鑿状鉄器」 222
文献の鏝 226 弥生時代の金属用鈍 228

第一〇章 鑿（やすり）

- 近世の鑿 234 古代の鑿 237

- 銅鐸の鑿痕 238 雁岐鑿 240
「東北院職人歌合」の鑿 244 歯フリ 246

第十一章 鑿（たがね）

- 弥生時代の鑿 250 鍛冶用の鑿 251
彫金用の鑿 259 石工用の鑿 264
古墳時代・歴史時代の鑿 268
正倉院の鑿、『和漢三才図会』の鑿 269
収集鑿について 273

終章 古墳出土の鍛冶具について

- 奥坂随庵古墳出土鍛冶具（五世紀） 278
奴山古墳出土鍛冶具（五世紀末～六世紀） 284
東十郎古墳出土鍛冶具（八世紀） 289